

高すぎる国民健康保険料(税)の引き下げへ 抜本的改善を求める請願

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

【請願趣旨】

全国どこでも高すぎる国民健康保険料(税)が住民を苦しめ、滞納へのペナルティによって保険証を取り上げられた人が、受診が遅れて死亡するなどの悲惨な事態が起っています。

国保は無職者、年金生活者、非正規雇用の労働者が多く加入し、医療保険の中で所得がもっとも低い反面、1人当たりの保険料(税)は、中小企業の労働者が加入する協会けんぽの1・3倍、大企業の労働者が加入する組合健保の1・7倍にのぼります。国保料(税)には、家族の数に応じて負担が増える「均等割」があるため、子育て世帯などでは、国保と協会けんぽの保険料の格差は2倍に広がります。

全国知事会、全国市長会、全国町村会などの地方団体は、こうした問題を解決するために、「1兆円の公費投入増」(全国知事会)など、国の財政投入により国保料(税)を協会けんぽの保険料並みに引き下げを求めています。

高すぎる国保料(税)を引き下げ、格差を解消することは、住民の暮らしと健康をまもるためにも、国保の持続可能性と医療保険制度全体の安定のためにも重要な課題です。暮らし・福祉最優先に税財政を見直して、必要な財源を確保すべきです。

その主旨から、以下のことを請願します。

【請願事項】

- 一、全国知事会など地方団体も要求してきた公費投入増を行ない、国民健康保険料(税)を協会けんぽの保険料並みに引き下げてください。
- 二、国保料(税)を高くする原因となり、子育て世帯などに過酷な負担となっている「均等割」「平等割(世帯割)」を廃止してください。
- 三、生活に困窮する人の国保料(税)を免除する国の制度をつくってください。
- 四、国保料(税)を滞納した人への保険証取り上げ、問答無用の差し押さえをやめ、滞納者の生活実態をよく聞いて親身に相談・収納活動を行う制度に転換してください。

氏名	住所

日本共産党